

安倍政権の 暴走から

くらしと福祉、平和を 守る相模原へ日本共産党

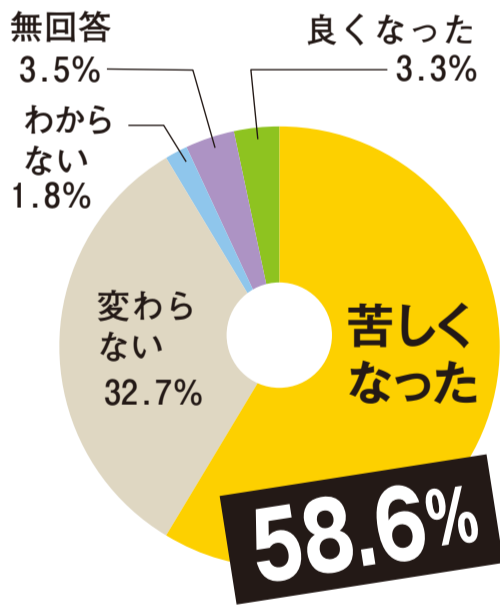
「市民アンケート」へのご協力
ありがとうございました



昨年、日本共産党相模原市議団が実施した「市民アンケート」に、2400 通を超える回答が寄せられました。12 月 21 日には、アンケートの結果などをまとめた要望書を市長に提出し、市民の願いを市政運営に反映するよう求めました。

「生活が苦しくなった」

この理由では、①年金の減少、②医療や介護の支出増、③税金の負担増、④給与の減少、⑤保育・教育の支出増をあげており、国の悪政や市政による負担増が市民生活を苦しめていることが明らかになっています。



松永ちか子

相模原市議会議員・党市議団長



プロフィール▼1955年鹿児島県奄美大島に生まれる。和光大卒。かながわ生協に勤務。現在、市議5期目、党市議団長。趣味は読書、映画鑑賞。中央区相模原に在住。

Facebook Twitter 松永 ちか子 検索

「生活が苦しくなった」

■あなたの毎日のくらし向きは

一人ひとりの いのち輝く相模原へ

ごあいさつ

異常なまでの格差社会、国民・国会無視の政治の私物化、安倍政権の横暴な政治がいつまでも続いていいはずがありません。国政も市政も、一人ひとりのかけがえのないいのち、人生が輝くためにこそ、あるべきです。

市政では、大型開発優先のまちづくりではなく、市民の声に耳を傾け、市民の願う命と暮らしを大切にする政治へ変えるチャンスです。みんなの声をまっすぐに届け、願いの実現に、引き続き全力で頑張ってまいります。

新しい市議会で

引き続き力を 尽くします

◆くらし応援

- 国民健康保険税1人1万円引き下げ
- 介護保険料、利用料の負担軽減
- 若い世代向け家賃補助制度の創設

◆子育て支援、教育の充実

- 保育所、児童クラブの待機児解消
- 小児医療費助成制度の所得制限・一部負担金廃止
- 小中学校の特別教室・体育館へのエアコン設置
- 少人数学級の推進
- あたたかくておいしい、全員喫食の中学校給食

◆防災・減災の取り組み強化

- 道路や橋、トンネルなどの老朽化・耐震化対策推進
- 「ひばり放送」の戸別受信機の早期導入
- 境川の早期改修

◆基地・平和

- 相模総合補給廠のミサイル部隊司令部撤退
- 米軍機、ヘリの爆音被害解消
- 日米地位協定の見直し
- 米軍基地の早期全面返還

◆まちづくり

- バス路線の充実
- コミュニティバス、乗合タクシーの導入促進
- 高齢者向けお出かけ支援制度(バス代補助等)の創設
- リニア建設中止、広域交流拠点整備計画の見直し